

とことん追求 “粘り強さ” が身上

市会に送っていただき4年が経とうとしています。この間、産業交通水道委員・市会運営委員として、みなさんの願いを国・市長へ届け実現するために力を尽くしてきました。

市会での質問は、経済・観光や民泊、ブラックバイト問題など100回を超えました。「民泊」問題では15の町内から相談を受け、地域の方々と粘り強く取り組んできました。これからもみなさんの声を市会に届け、要求実現に全力で奮闘してまいります。



日本共産党

京都市会議員

平井良人

ひらい よしひと

市会

京都市生まれ（41歳）六萬保育園から西院保育所、西院小・中学校を経て京都府立朱雀高校、大阪国際大学経営情報学部卒業。経理センター（民商）に勤務。元朱七保育園保護者会会長。現在、中京消防団朱七消防分団員、朱七体育振興会総務部長、京都市スポーツ推進委員、市会運営委員、産業交通水道常任委員会副委員長

平井良人   

一人ひとりの声を着実に市政に反映

民泊対策で奔走



「民泊問題」に対するみなさんの切実な声で、中規模以上の宿泊施設で管理者の常駐が基本になりました。

現場に足を運び粘り強く要求



視覚障害者の方と一緒に現地調査を行ない、繰り返し質問。地下鉄のホーム柵設置計画の推進、点字ブロック増設が実現しました。

ブラックバイト根絶へ



学費・奨学金・ブラックバイトの改善を求めるLDAのみなさんと実態調査を繰り返し、京都市独自のブラックバイト窓口を設置させました。

空き店舗対策で一歩前進



地元西新道商店街などから実態を聞き取り、議会質問を通して「京都市商店街空き店舗解消促進事業」ができました。さらなる総合的な商店街支援が必要です。

安心して暮らし続けられる中京区へ 平井良人の提案

1 観光・宿泊施設に対して

ホテル、簡易宿所等の宿泊施設増加を抑制し、公共交通を充実して混雑を 방지、住民がこれまで通り暮らせる京都市へと転換するためがんばります。

2 保険料や利用料の引き下げ、軽減をめざして

「住民福祉の増進」という地方自治体の本来の役割が果たせるよう、国保料・介護保険料と保育料の引き下げ、減免制度の充実など経済的に苦しくなったときに支えになる保険制度へと切り替えます。

3 いのちの水、水道事業は京都市の責任で

料金値上げと水質悪化をさせないため、国の水道民営化の流れを地方からストップさせるためにがんばります。

みんなにやさしい京都市へ奔走

地下鉄烏丸線の可動柵設置に伴い「点字ブロック」が撤去されましたが、平井さんの現場調査をもとにした議会での繰り返しの質問で再度設置が実現しました。私たち視覚障害者は安心して地下鉄に乗れるよう、他の駅にも可動柵が設置されることを願っています。みんなにやさしい京都市へ、平井さんには引き続きがんばってほしいです。

菅野 良子さん

